

2024
年度

Integrative psychotherapy



杉原 保史



坂本 真佐哉



福島 哲夫



池見 陽



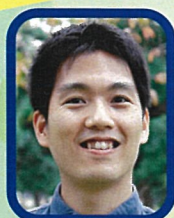
東 斉彰

KSCC 統合的心理療法 セミナー

番外編:特別セミナー



菅原 大地



榎原 潤



【司会】(第1回・第2回)

宮田 智基先生

帝塚山学院大学大学院教授
(公財)関西カウンセリングセンター講師

《多様な学派から学ぶ統合的心理療法》

周知のように、心理療法はそれぞれユニークな強みをもった多様な学派から成り立っています。

統合的な心理療法は、学派の多様性を尊重し、それぞれの学派をオープンな姿勢で広く積極的に学んでいこうとします。

また、診断分類だけでなく、クライアントの個性や背景にある文化の多様性を尊重し、個々のクライアントに合わせて、クライアントとともにセラピーを構築していくことが必要だと考えます。このセミナーは、今年、9年目を迎えます。

このセミナーが、みなさんそれぞれのセラピストとしての成長を促進するものとなることを願っています。

杉原保史

講座概要

期 間 2024年10月～2025年1月 全3回 日曜日 10:00～16:15
第3回は10:00～16:30 1回5時間

対 象 公認心理師、臨床心理士、指定大学院大学院生、心理臨床に携わる専門家で
事例等の守秘を遵守できる方
本セミナーは各回とも臨床心理士の資格更新ポイントになります。

定 員 各プログラム60名

受講形態 Zoomによるオンライン研修

受講料 各回6,600円(税込)



詳細・お申し込みは
こちらから

第1回 「思春期・青年期の心理療法」

2024年10月20日(日) 10:00~16:15

〈講義1〉
心理療法を現代の青年期に適合させる

講師からの
メッセージ

心理療法の理論は、年齢を問わず、普遍的に適用されるものとして提示されています。けれども、実際には心理療法は、効果を上げるには（害を与えないためにも）、その対象者に合わせて調整して実践することが必要です。青年期とはどういう発達上の時期なのか、特に現代の青年の置かれている状況の特徴はどのようなものなのか、そしてそれが青年期のメンタルヘルス上の問題にどのような影響を与えているのか、といったことを考えてみたいと思います。

講師

京都大学学生総合支援機構学生相談部門長・教授
杉原 保史 先生

〈講義2〉
不登校・ひきこもりの家族支援

講師からの
メッセージ

不登校やひきこもりの状態にある方と共に暮らす家族に対して、演者も含め多くの支援者は「見守りましょう」というアドバイスをついつい発してしまいがちです。しかし、家族にとって「見守りましょう」は、「何もしてはいけない」とか「これまでのやり方が間違っている」などのメッセージになってしまい、役に立つとはいえないでしょう。家族ほど支援に向けて重要なリソースはないでしょうから、どのように協働していけるのかについて提案できればと思います。

講師

神戸松蔭女子学院大学人間科学部長・教授
坂本 真佐哉 先生

第2回 「フォーカシングと統合的心理療法」

2024年11月10日(日) 10:00~16:15

〈講義1〉
統合的心理療法の中に出現する
フォーカシング的瞬間

講師からの
メッセージ

私は統合的心理療法の中核にフォーカシングがあると考えています。フォーカシングは心理的変容のエッセンスだからです。その意味で例えば夢分析にも箱庭療法にも、その根本にはフォーカシングがあるのではと長年感じてきました。そこで、今回は池見陽先生とペアでやらせていただく機会をとらえて、比較的似たところの多いAEDP™のセラピー中にフォーカシング的な瞬間が訪れる場面を紹介して、一緒に検討できたらと思います。

講師

大妻女子大学教授・成城カウンセリングオフィス所長
福島 哲夫 先生

〈講義2〉
体験過程モデルと統合的心理療法

講師からの
メッセージ

哲学者ユージン・ジェンドリンは「人の体験は如何にあるのか」を言い表し、心理療法の基盤となる体験と象徴の関係について考察した。また彼は「フォーカシング」を見出したことでも知られている。この講義では、ジェンドリンの体験過程論を援用し発展させた筆者らの理論モデルである「体験過程モデル」を概観し、心理療法で何が起きているのかを考察する。

講師

関西大学人間健康学部教授
池見 陽 先生

第3回 「クライアントの状態に合わせた心理療法 ～タイプ志向折衷療法(TOET)の考え方と実際」

2025年1月19日(日) 10:00~16:30

講師

甲子園大学心理学部教授/発達・臨床心理センター長
東 斉彰 先生

講師からの
メッセージ

心理療法には様々な学派がありますが、近年ではそれらを統合、折衷的に用いる方法が盛んになっています。タイプ志向折衷療法(TOET)は、統合・折衷的心理療法の一つの方法で、演者が開発したものです。TOETでは、クライアントの症状や問題、パーソナリティのタイプ、精神病理水準、希望や期待などを精緻に聴取して整理し、アセスメント結果に基づいて様々な技法を適用して効果を目指します。本セミナーでは、TOETの考え方を紹介し、簡単なワークを実施します。現在行っている心理療法の効果を高めたい方のご参加をお待ちしています。

番外編 【特別セミナー】

2025年2月2日(日) 14:00~17:00
「プロセス・ベースド・セラピー入門」

講師

筑波大学人間系准教授 東洋大学社会学部助教
菅原 大地 先生 ・ 榎原 潤 先生

【進行】 京都大学学生総合支援機構学生相談部門長・教授
杉原 保史 先生

※このセミナーは臨床心理士資格更新ポイントにはなりません

お申し込み・お問い合わせ

 公益財団法人 関西カウンセリングセンター

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング8階
事務局 電話受付時間 火~日 11:00~18:00(月曜休業)

TEL 06-6809-1225

MAIL koza@kscc.or.jp HP <https://www.kscc.or.jp>

▼京阪本線・大阪メトロ御堂筋線「淀屋橋駅」①番出口より北へ5分

▼京阪中之島線・「大江橋駅」⑤番出口より北東へ3分

関西カウンセリングセンター 統合的心理療法セミナー

検索